

浜松市モビリティサービス推進 コンソーシアム

第1回会議

Digital Smart City HAMAMATSU

令和2年6月1日





- 1 開会
- 2 共同幹事挨拶
- 3 コンソーシアムの概要
- 4 講演（MaaS概論、全国の動向等について）
アドバイザー会員：MONET Technologies(株)
- 5 今年度の事業予定
- 6 交通課題と市内の主な取組
- 7 意見交換
- 8 閉会

2 共同幹事挨拶



- 浜松市
デジタル・スマートシティ推進事業本部長 朝月 雅則
- 遠州鉄道(株)
経営企画部長 野村 和徳
- スズキ(株)
コネクテッドセンター 本社担当 部長 熊瀧 潤也

3 コンソーシアムの概要



■ 宣言日

令和元年10月31日

■ 目的

人口減少・少子高齢化をはじめとした社会課題が深刻化するなか、AI・ICT等先端技術やデータ活用などデジタルの力を最大限に活用し、持続可能な都市づくりを推進する。

■ 戦略分野

- (1) 「都市づくり」のデジタルファースト【都市の最適化】
⇒ **デジタル・スマートシティの推進**
- (2) 「市民サービス」のデジタルファースト【市民サービス向上】
- (3) 「自治体運営」のデジタルファースト【自治体の生産性向上】

■ フェローの委嘱

○東 博暢 氏【デジタル・スマートシティ】

(浜松市ベンチャー支援アドバイザー、(株)日本総合研究所プリンシパル)

○陳内 裕樹 氏【デジタル・マーケティング】

(内閣府クール・ジャパン地域プロデューサー、観光庁アドバイザリーボードメンバー)



「デジタル・スマートシティ浜松」の推進

都市の最適化と市民QOLの向上

◆オープンイノベーション ◆市民起点 ◆アジャイル型まちづくり

地域課題解決

イノベーションや新たなビジネス創出

浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム

◆分野間連携推進 ◆データ利活用推進 ◆事業化支援 等



エネルギー



モビリティ



防災・安全



健康・医療・福祉



農林業



教育・子育て



観光・商業



産業
(ものづくり)



デジタル・ガバメント

データの見える化

◆ダッシュボード
◆BIツール 等

データ連携基盤 (API・データ統合基盤)

※オープンデータの推進

行政

- ◆避難所
- ◆休日当番医
- ◆病院、診療所
- ◆学校、幼稚園、保育園 等

民間

- ◆交通
- ◆電力
- ◆決済
- ◆健康 等

空間

- ◆水位
- ◆温度
- ◆道路渋滞
- ◆駐車場の満空 等



「デジタル・スマートシティ浜松」の推進体制

＜浜松市フェロー＞

東 博暢 氏（デジタル・スマートシティ分野）

陣内 裕樹 氏（デジタル・マーケティング分野）

庁内体制

デジタル・スマートシティ推進本部

デジタル・スマートシティ政策の企画及び
庁内調整

本部長：市長
副本部長：長田副市長
本部員：庁議構成員

※事務局：デジタル・スマートシティ推進事業本部

ワーキンググループ

デジタル・スマートシティ政策の個別・具体的な施策の調整及び検討等

関係課の職員で構成

連携

官民連携プラットフォーム

代 表：市長、事務局：デジタル・スマートシティ推進事業本部

- 分野間連携の促進
- データ利活用の推進

デジタル・ガバメント分野

浜松市所管部局

防災・安全分野

浜松市所管部局

エネルギー分野

浜松市スマートシティ
推進協議会

モビリティ分野

浜松市モビリティサービス
推進コンソーシアム

運営委員会

委員長：長田副市長
副委員長：東フェロー
産業・経済：浜松商工会議所
金融：静岡銀行、浜松いわた信用金庫、
遠州信用金庫
大学：静岡大学、浜松医科大学
各分野の代表

教育・子育て分野

浜松市所管部局

農林業分野

【林業】静岡県農林技術研究所
森林・林業研究センター
【農業】浜松スマート農業
推進協議会 準備会

観光・商業分野

浜松・浜名湖
ツーリズムビューロー

健康・医療・福祉分野

浜松ウエルネス推進協議会
浜松ウエルネス・ラボ

産業(ものづくり)分野

浜松市スタートアップ戦略
推進協議会

設立趣旨

- 本格的な人口減少・高齢化社会を迎えるなか、広大な市域を持つ本市において、市民の移動手段の確保は、都市機能や市民生活の維持において重要なテーマである。
- 移動とサービスの連携により新たな需要の創出や地域の活性化への貢献も期待される。
- 国土縮図型都市・浜松におけるモビリティサービスのあり方を検討するとともに、モビリティサービスの観点から本市の持続可能な発展への寄与を目指し、コンソーシアムを設立する。

<体制> ※令和2年4月1日設立

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

- 共同幹事：浜松市、遠州鉄道(株)、スズキ(株)
- アドバイザリー会員：MONET Technologies(株)
- 一般会員：市内外から募集
- 事務局：浜松市(デジタル・スマートシティ推進事業本部)

会員が実施する
プロジェクト

会員が実施する
プロジェクト

会員が実施する
プロジェクト

<取組内容>

- 会員主導のプロジェクトの創出支援
- 会員による実証実験や実装に向けた取組への支援
(フィールドの提供等)
- 先進事例や会員の取組の共有

<会 員>

- 会員種別：①共同幹事
②アドバイザリー会員
③一般会員
- 入会金・会費：無料

会員の申込状況

• 一般会員27団体からの申込（令和2年5月27日時点）

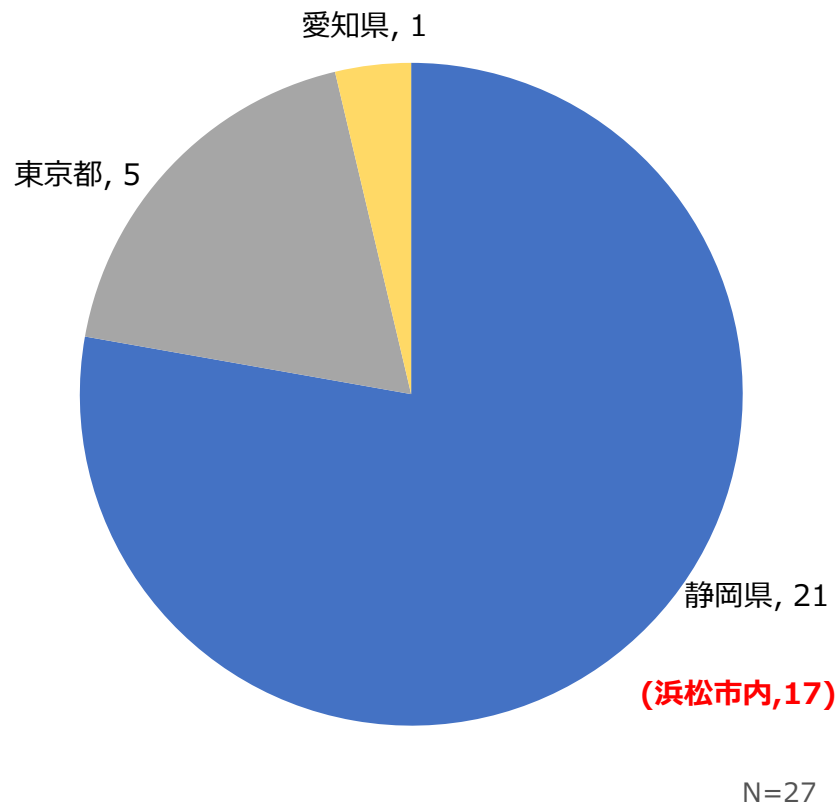
No	法人名	No	法人名
1	SBテクノロジー株式会社	15	凸版印刷株式会社 浜松営業所
2	遠州トラック株式会社	16	株式会社トラジェクトリー
3	株式会社オルトア	17	株式会社中村組
4	株式会社杏林堂薬局	18	浜松鋼板加工株式会社
5	株式会社KYOWAエンジニアリングラボラトリー	19	一般社団法人 浜松全力応援団
6	株式会社こころ	20	株式会社日立ソリューションズ
7	株式会社JTB浜松支店	21	不二総合コンサルタント株式会社
8	ジョルダン株式会社	22	株式会社フジヤマ
9	鈴木ソフトラボラトリー合同会社	23	丸紅株式会社
10	ソフトバンク株式会社	24	三井住友海上火災保険株式会社 浜松支店
11	損害保険ジャパン株式会社	25	一般社団法人ヤマトグループ総合研究所
12	中部電力株式会社	26	ヤマハ発動機株式会社
13	東京海上日動火災保険株式会社	27	株式会社レンティック中部
14	常盤工業株式会社		

※50音順

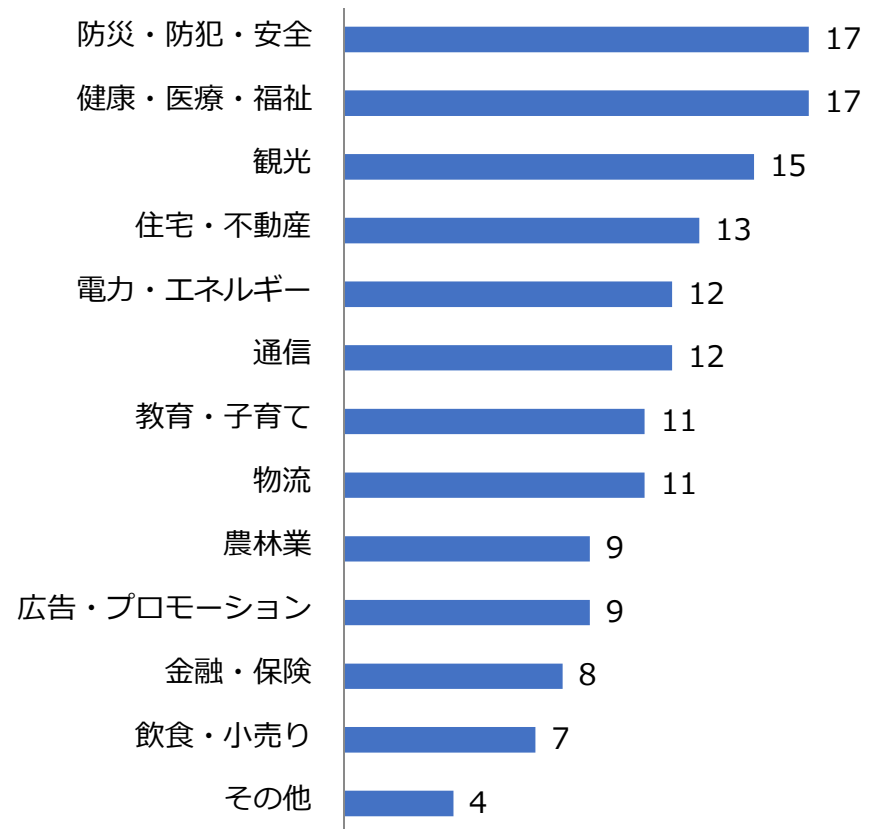
会員の申込状況

- 県内企業(ほぼ浜松市)が7割以上。その他は大都市圏の企業（主に市内に支店を持つ企業）
- 防災・防犯・安全と健康・医療・福祉への関心が高い。一方で、飲食・小売り及び金融・保険分野の関心がやや低い。分野間の連携を促進するためには、この2分野への情報発信の強化が必要と考えられる

所在地（都道府県）



関心のある分野



4 講演（MaaS概論、全国の動向等について）



アドバイザー会員

MONET Technologies(株) 事業推進部

担当部長 小澤 拓郎

5 今年度の事業予定



今年度の事業予定

項目	2020年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
デジタル・スマートシティ	デジスマ構想策定	デジタル・スマートシティ構想の策定											
	庁内連携	★第1回本部会議 4/28	★第1回WG	★第2回WG	★第3回WG	★第4回WG	★第5回WG	★第6回WG	★第2回本部会議				
	官民連携プラットフォーム	●第1回運営委員会 5/14		●第2回運営委員会	●第3回運営委員会	●第4回運営委員会	●第5回運営委員会						
	データ連携基盤実証実験	実証実験募集		実証実験					成果発表会●				
	デジスマ推進マンス			冠事業募集			マンス ※時期調整中						
	フォーラム					参加者募集		●官民連携フォーラム(6/11から延期)					
	MaaS構想策定	MaaS構想の策定											
デジタル・ガバメント	モビリティサービス推進コンソーシアム	MaaS関連の民間プロジェクトの促進											
	AI・RPA等活用促進PT	デジタル×コロナ対応調整 ※当面は、デジタルを活かしたコロナ関連の対応を調整											
	電子申請推進(LINEを使った住民票の申請)					開発				実証実験			
デジタル・マーケティング	デジマケ戦略策定	デジタル・マーケティング戦略の策定											
	庁内研修								★人材育成研修				

6 交通課題と市内の主な取組



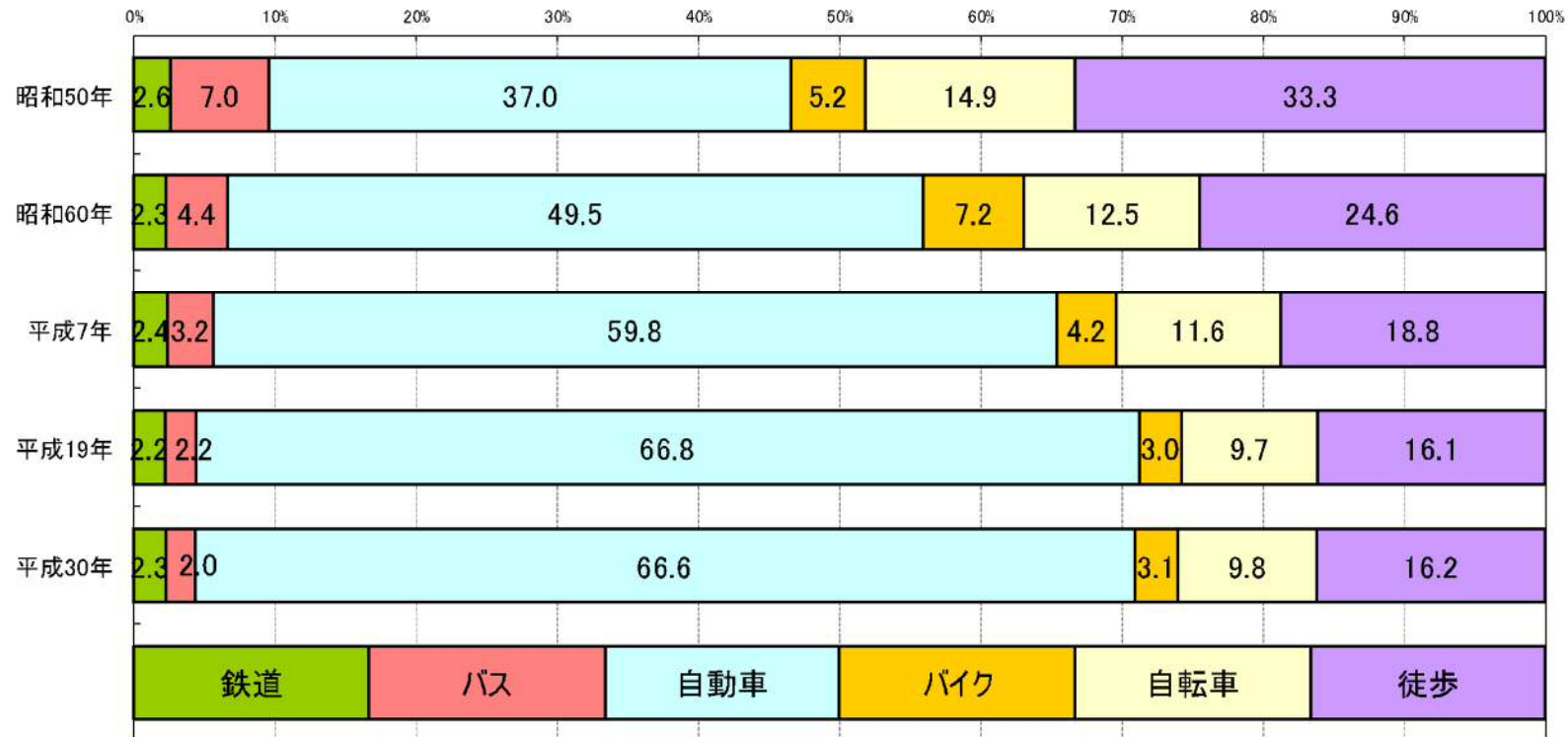
交通に関する課題

エリア	課題
浜松市全体	高齢化の進展
	自動車の運転を続けることが難しい方の増加（免許返納）
	高い自動車依存
	路線バス利用者の減少
	人口10万人当たりの交通事故件数政令市ワースト1
	バス運転手の高齢化・人員減少
市街地/観光	渋滞
	市街地の回遊性
	観光地へのアクセスや二次交通
郊外	渋滞
	居住地、産業集積の郊外化
中山間地	バス路線の減便・退出
	地域バス利用者減少
	高い高齢化率

※ 今後、MaaS構想策定の中で整理

交通手段分担率の推移

Digital Smart City HAMAMATSU



資料: 第1~4回西遠都市圏 PT 調査

※2018(平成30)年は推計値(第4回西遠都市圏 PT 調査の2007(平成19)年値を2018(平成30)年の夜間人口等で補正)



取組概要

利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークを構築するとともに、先端技術やデータ、サービス間の連携など次世代モビリティサービスへの取組を推進する。

(浜松版MaaS構想の策定、浜松市モビリティサービス推進コンソーシアムの設立)

自動運転の実証実験

民間

行政

『浜松自動運転やらまいかプロジェクト』

- 実施主体：浜松市、SBドライブ(株)、スズキ(株)、遠州鉄道(株)
- 自動運転技術を活用したスマートモビリティサービスの事業化に向けた実証実験
- 段階的かつ継続的な実証実験を行うことで、本市に最適な自動運転システムを構築
- 自動運転車を営業運行した時のビジネスモデルや収益構造をシミュレーションし、実現性を高める検討の実施

令和元年度実証実験概要

期間：令和元年12月10日(火)～23日(月)
8:00～16:30
運賃：無料
車両：スズキノリオ(小型自動車)
距離：片道約13km
所要時間：約25分



使用車両 →

【運行ルート:遠州鉄道(株)館山寺営業所～桜台SC】



ICTを活用した地域バスの運行

行政

- 実施主体：浜松市
- 従前のバス停を約2倍に増やし、利便性を向上。利用者増加。
- 利用実態（相乗り率、予約不成立等）の分析が可能



出典：国土交通省東北運輸局「バス制度の概要について」

MaaSの取組

民間

- 実施主体：遠州鉄道(株)
- MaaSアプリ「EMot」の電子チケット発行機能を活用した「デジタルフリーパス」や「飲食チケット」





地域新MaaS創出推進事業 先進パイロット地域募集について

令和2年度「高度な自動走行・MaaS等の社会実装に向けた研究開発・実証事業（自動走行車等を活用した新しいモビリティサービス実証事業）」の内数として実施



公募説明会：
令和2年5月12日（火）15:00～16:00

公募期間：
令和2年4月22日（水）～令和2年6月1日（月）

応募意向の表明締切：5月18日（月）
最終締切※：6月1日（月）午前11時

※緊急事態宣言の発令を受けた対応については、「申請の流れ」、また公募要領をご確認ください。



春野地域における 医療MaaSプロジェクト

<実証実験の概要>

実証実験①：移動診療車を用いたオンライン診療

実証実験②：オンライン服薬指導から薬剤配送

【概要】 往診患者を対象に、移動診療車を用いたオンライン診療の実施。オンライン診療実施した患者に対して、オンライン服薬指導を行い薬剤配送を実施。

実証実験③：特養の車両の遊休時間の通院支援

【概要】 特養の送迎車両の遊休時間に診療所にマイカー通院している患者を対象とし通院支援を実施。



天竜区春野町の受療行動分析

■プロジェクト名称

浜松市 食のデリバリープラットフォーム構築事業 【Foodelix（フーデリックス）】

■実施団体

(株)こころ、(株)日本シャルフ、(株)サンロフト、遠鉄タクシー(株)、エムスクエア・ラボ(株)、(株)モリロホ

■背景・目的

◆外食 → 中食、内食 への変化

コロナウィルスにより外出自粛期間を経て、新たな生活スタイルに変化し、食生活においても、外食から中食、内食へと急激にシフトしている。

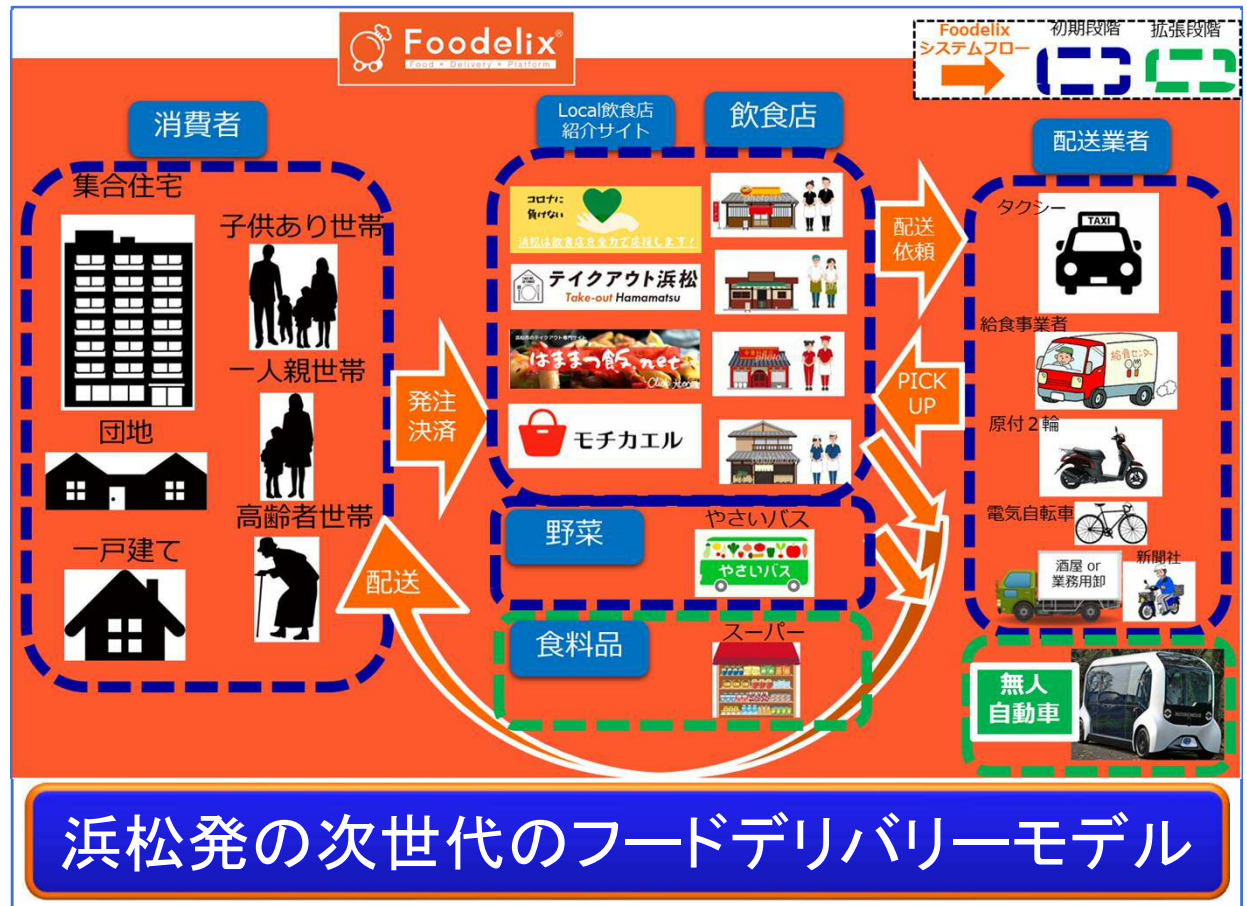
◆フードデリバリー市場の拡大

コロナウィルスの影響により、休業要請等により、売上が急減し飲食店が窮状に陥っている。

◆外食企業 x タクシー企業による連携

同様に需要減少によりタクシー企業の売上が急減し、企業の在宅ワークや出張自粛により、需要が以前と同様に戻っておらず、またワークスタイルの変化により、以前と同様の売上に戻るかどうかかわからない。

■概要



浜松発の次世代のフードデリバリーモデル

7 意見交換

